

田んぼダムや体験学習の取組により 地域を次世代に継承

—洪水防止機能—

いであみ

出上農地・水保全活動組織



田んぼダムの取組



のぼりで田んぼダムをPR



自作の排水調整板設置状況

本地区は、鳥取県中部の琴浦町（旧赤碕町）に位置する水田農地帯で、昭和48年～53年のほ場整備事業で整備された農地では、水稻、すいか・ミニトマトなどが栽培されています。

平成24年度から多面的機能発揮促進事業に取り組み、「次世代につなげ、明るい地域を目指して」を合い言葉に「軽トラ水族館」（生き物調査）、「植栽活動」、小学校と連携した「農業体験活動」（田植え体験学習）等、積極的に活動している。

また、地区内を流れる二級河川「勝田川」は過去に幾度となく氾濫しており、早くから自主防災組織が活動するなど防災・減災意識の高い地域で、令和3年度から同事業による「田んぼダム」の取組や平成29年7月豪雨時には災害復旧を行う等、防災・減災力の強化に係る活動に取り組んでいる。



鳥取県琴浦町

〔洪水防止〕

一部役員で取り組み始めていた「田んぼダム」の活動を令和3年度に開始し、同組織が自作した排水調整板を希望農家に配布しながら取組面積を拡大（令和4年度取組面積17ha）するとともに、排水路の泥さらいにも取り組み、排水機能の十分な発揮に留意している。

〔生物多様性保全、体験学習と教育〕

地域内の親子を対象に、用排水路に棲む生きものを採取し観察する「軽トラ水族館」を開催し、農村環境の大切さを学習。

〔伝統文化の継承、体験学習と教育、地域社会の振興〕

地元小学校と連携し農作業体験を行い、収穫したもち米を「旧正月を楽しむ会」において餅つきを行い、農村文化の伝承を通じて農村コミュニティを強化。

〔景観の保全〕

地域の保護者会が中心となり、子供たちと一緒に植栽活動。



軽トラ水族館



子供たちとの餅つき「旧正月を楽しむ会」



子供たちとの田植え



子どもと保護者等で植栽活動